

2015年8月3日

会員各位

車載組込みシステムフォーラム（ASIF）事務局

2015年度 第2回ASIF応用技術セミナー開催案内
～システム障害未然防止のための体験型ワークショップセミナー～

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記要領にて車載組込みシステムフォーラム（ASIF）2015年度第2回応用技術セミナーを開催します。皆様のご参加をお待ち申し上げております。参加希望の方は、9月3日までに下の【申込み】欄に記載のWebからお申し込みいただきますようお願い申し上げます。

敬 具

【主催】 車載組込みシステムフォーラム（ASIF）

【共催】 独立行政法人情報処理推進機構（IPA）、 名古屋市工業研究所

【テーマ】 システム障害未然防止のための体験型ワークショップセミナー

【開催日】 2015年9月10日（木）

10:00～16:30

（開場受付9:30～）

【会場】 名古屋市工業研究所

管理棟4階 第二会議室

（名古屋市熱田区六番3-4-41）

<http://www.nmiri.city.nagoya.jp/>



交通機関：名古屋市営地下鉄 名港線「六番町」
下車（3番出口）すぐ

【セミナー概要】

独立行政法人情報処理推進機構技術本部ソフトウェア高信頼化センター（IPA/SEC）では、重要インフラなどに使用される製品や制御システムが引き起こすシステム障害の未然防止・影響範囲の縮小を目指し、「情報処理システム高信頼化教訓集」としてとりまとめました。今回、この教訓集から参加される企業様に役立つような事例を選びワークショップ形式で体験します。本ワークショップでは、障害から根本原因の深掘りを行い再発防止策を立案し、さらに未然防止の教訓を得る一連のプロセスを追体験することができます。

【セミナー対象者】

ソフトウェアを含む組込み製品・システムの開発に関わるリーダ並びにリーダ候補の技術者で、システム障害から得られる知見を再発防止や未然防止に展開する実践活動に興味を持っている方。また今後車載システム開発に関わるご予定のある企業の技術者の方も参加いただけます。

【定員】30名

【プログラム】

10:00～10:05（5分） 開催ご挨拶

10:05～10:45（40分）

【講義】「失敗事例に学ぶ」

講師：独立行政法人情報処理推進機構 技術本部ソフトウェア高信頼化センター

調査役 三原 幸博 様

概要：製品制御システムのトラブルの原因分析・対策立案・教訓化のためのアプローチ方法を紹介します。

10:45～16:20（全275分）

【演習】「障害事例の分析から再発防止・未然防止策を作成」

講師：独立行政法人情報処理推進機構 技術本部ソフトウェア高信頼化センター

調査役 三原 幸博 様、調査役 石田 茂 様、研究員 松田 充弘 様

概要：障害事例の原因分析とトラブルを未然防止／再発防止するアプローチ方法を事例に基づいてグループ演習します。チーム発表とグループ演習を繰り返します。

（12:00～13:00 昼食）

16:20～16:30（10分） 質疑応答

【参加費】 ASIF 会員 : 無料

ASIF非会員 : 3,000円 当日現金でお支払ください。領収書をお渡しします。

【申込み】 下のWebサイトからお申込みください。

<http://www.as-if.jp/seminar-form2.html>

- ・ 申込み期限：2015年9月3日（木）
- ・ 先着順で受付けます。期限前でも定員（30名）になり次第締め切ります。
- ・ 本セミナーは定員が少ないため、確実にご参加いただける方でお申し込みください。

【参加票】 お申込みと同時に登録されたメールアドレスへ参加票が送付されます。

当日その参加票を印刷して受付へご提示ください。

【問い合わせ先】

車載組込みシステムフォーラム（ASIF）事務局

公益財団法人中部科学技術センター イノベーション創出支援室 齊藤、澤田

TEL：052-231-6723 FAX：052-204-1469 e-mail：monodukuri@cstc.or.jp

【備考】 当日、資料を電子的に整理する予定です。会場に各グループ1台、コンピュータを用意いたします。なお、使い慣れたノートコンピュータをお持ちいただき、資料整理をしていただくことは可能です。グループに1台でよいので、全員がお持ちになる必要はありません。

以 上